

ご協力いただいたみなさまのご紹介

アンバサダー専用ロゴ

“アンバサダー”として、脱炭素チャレンジカップを盛り上げて頂きました！

前年の低炭素杯に出場したことのある方の中から、「低炭素杯“愛”」にあふれ、自身の活動フィールドを生かしながら「低炭素杯・脱炭素チャレンジカップ」を草の根的に広めることを目的に、2017年よりアンバサダー制度を実施しています。本大会では4名の方に、脱炭素チャレンジカップアンバサダーとして活躍いただきました！



● 元 栃木農業高等学校 教諭 小森 芳次 様

当大会は、世代を超え脱炭素社会構築を目指し、全国各地の多種多様の優れた活動を発表する場です。私達、栃木農業高校は、豊かな地域資源の保全・生活文化の復活継承に取り組んだ結果、低炭素杯2012、2013の全国大会にて2年連続環境大臣賞グランプリを受賞させていただきました。

この大会で得られた世代間連携・地域おこし活動などの体験報告は、卒業後、社会人として「生きる力」を育む原動力となっています。



● FMおとくに 事務局長 木本 直樹 様

脱炭素社会の構築を目指して今年度より新たなスタートを切った「脱炭素チャレンジカップ」。今回も地域で活躍する皆さんの元気なお声を聞くことができました。

気候変動はこれまでに経験したことのない大規模な台風や豪雨など、私たちの暮らしに与える影響は大きくなっています。

この大会を通じて気候変動を止めるための地域活動の輪が広がり、一人ひとりが生活スタイルを見直すきっかけになればと願っています。皆さん、またお会いしましょう！



● ファインモーターズスクール 営業企画部 広報チームチーフ 齊藤 千絵 様

脱炭素チャレンジカップのゆるっとした温かい雰囲気が好きです。私は2016年の低炭素杯でエコドライブを様々な世代に啓発する内容を発表し、文部科学大臣賞を頂きました。その後はアンバサダーとしてゲスト審査員や当日受付のお手伝いしています。会場には洗練されたアイデアを持った様々な地域や世代の方が集まります。世の中にまだ知られていない取り組みも沢山あって、まさに宝箱のような大会だと思います。そんな脱炭素チャレンジカップをもっと多くの人に知ってもらいたいです。



● エコドライブ研究所 代表 福田 慎太郎 様

私の大好きな低炭素杯。アットホームで温かみのある雰囲気はそのままに、今回から脱炭素チャレンジカップとして生まれ変わりました。2014年の初ファイナリストから、3度目の正直で文部科学大臣賞を頂いた後もずっと関わらせていただいているこの大会。今年もアンバサダーを務めさせていただき嬉しく思っています。これからも脱炭素社会を目指す皆さまと一緒に大会を盛り上げていければ幸せです。さあ、エコドライブに取り組みましょう。

“協力団体”として広報面・当日のスタッフとしてもご協力いただきました！

こどもエコクラブ全国事務局 (公益財団法人 日本環境協会)



こどもエコクラブとは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、現在約1,800クラブ、10万人を超える子どもたちが全国で活動しています。

「ジュニア・キッズ部門」への子供たちの応募を促進するべく、こどもエコクラブに協力いただき、登録クラブにエントリー募集の声がけをしていただきました。今回は、ファイナリストの中で2団体がこどもエコクラブの関係/登録団体でした！

自動車教習所 ファインモーターズスクール



ファインモーターズスクールは、低炭素杯に何度も出場、受賞している常連団体で、免許取得の際に自然とエコドライブが身につく「楽エコ教習」を基軸に、小学校でのエコドライブ寸劇や、自治体職員向けのエコドライブ指導者養成など、多様な取り組みを通じて「エコドライブ」の普及を行う自動車教習所です。今年は当日に、受付スタッフとして、事務局と一緒に汗を流していただきました！